

血液型と職場モラル, 組織風土に関する実証的研究

関, 文恭
九州大学医療技術短期大学部

三角, 恵美子
(財)集団力学研究所

金城, 亮
(財)集団力学研究所

久保, 友徳
(財)集団力学研究所

他

<https://doi.org/10.15017/229>

出版情報 : 九州大学医療技術短期大学部紀要. 20, pp.45-48, 1993-03. Kyushu University School of Health Sciences Fukuoka, Japan

バージョン :

権利関係 :

血液型と職場モラル、組織風土に関する実証的研究

関 文 恭*、三 角 恵美子**、金 城 亮**
久 保 友 徳**、森 一 生**、三 隅 二不二***

An Empirical Study of the Subordinate's Morale and Blood Type

Fumiyasu Seki, Emiko Misumi, Akira Kinjyou, Tomonori Kubo,
Kazuo Mori, Jyuji Misumi

The purpose of this study is to prove the subordinate's morale and blood type. The main results are follows;

- 1) The subordinate's morale and blood type is not relationship.
- 2) PM-type leaders are the most high morale and pm-type leaders are the low morale.

一般的に血液型（ABO式）と性格について関係があるように言われているが^{1), 2), 3)}、心理学的には関係がないことが実証されている⁴⁾。しかしながら血液型はステレオタイプな特性があり、対人関係において相性がよい組合せがあるとも言われている⁵⁾。

本研究は、組織体成員の個人的特性である、血液型（ABO式）が職場における意欲、モラルに与える影響を検討する。あわせて、上司のリーダーシップ認知がそれらに及ぼす効果を実証的に明らかにすることを目的とする。

方 法

<調査対象>

福岡市にある2つの百貨店に勤務する一般社員1064名（A社；589名、B社；475名）を調査対象とした。対象者は、男性257名、女性796名、不明11名から構成されている。また、年齢は18歳から63歳におよび、平均32.09歳（SD.....

* 九州大学医療技術短期大学部
 ** (財) 集団力学研究所
 *** 久留米大学文学部

= 9.74) である。このうち、血液型に関する分析には1033名、リーダーシップ類型に関する分析には992名を用いた。

<調査時期>

調査対象の2社のうち、A社については1988年4月、B社については1989年9月に調査を行った。

<手続き>

調査は、(財) 集団力学研究所が1986年から実施している“職場健康度調査”の一部として行った。同調査は、“職場に関するアンケート”と題して、仕事意欲、会社満足、コミュニケーションなど、いわゆる職場モラルの8側面に関する各5項目、計40項目の設問、および三隅⁶⁾の提唱するリーダーシップPM理論に従い、上司のリーダーシップP行動、M行動の様態を問う20項目（P行動：10項目、M行動：10項目）、さらに仕事充実度、仕事中心性、ライフスタイルなどのいわゆる組織風土に関する設問の一部から構成されている。

調査項目のうち、リーダーシップ評価項目は事務・技術系係長クラス評価用に設計されたFORM2を用いた。以上の調査項目の詳細について

では、関・三角⁷⁾ および、関・三隅・矢守・大黒・三角⁸⁾ に述べている。

職場モラル及びリーダーシップ評価の項目はそれぞれ5件法で実施された。組織風土に関する項目については、本調査で用いた項目を表1に示している。仕事充実度は、5件法による7つの下位項目の合計、目標志向性は職場の目標が明確かどうかを3件法で尋ねる形式、仕事中心性は、家庭

やレジャー、地域社会、宗教など、他の生活の領域との相対的な関係において仕事をどのように位置づけるか、100点の得点をどの程度配分するかによって回答させる項目である。会社信頼度は5件法2項目の合計である。ライフスタイルに関する項目は、職場内満足・職場内向上・家庭内満足・余暇満足の4つの下位尺度から成り、それぞれが3つの項目の合計を得点とする。この他、生活

に対する全般的な満足度を3件法で尋ねている。調査は集合調査の形式を取り、また無記名で行った。

結果の分析にあたっては、調査回答者の血液型と上役のリーダーシップ認知類型を独立変数とし、それぞれの種類の違いが、上述の職場モラルおよび組織風土の各要因得点に及ぼす影響を検討した。

調査対象者の血液型は、調査票の最終ページに性別、年齢等の属性変数とともに回答を求めた。血液型の分類は、一般にABO式と呼ばれる分類様式に従い、A型・B型・O型・AB型の4選択肢から1つを選択させた。

リーダーシップ類型の分類は、P項目、M項目それぞれ10項目の合計をP得点、M得点として、両認知得点の算術平均を求め、この平均値を基準にして、回答者による上司のリーダーシップ認知型をP・M得点がともに平均を上回るPM型、いずれか一方の得点のみが平均を上回るP型、M型、さらに両得点が平均を下回るpm型の4類型に分類した。

結果と考察

<血液型による群分け>

血液型とリーダーシップ認知類型の分類結果を表2および表3に示す。

表1 組織風土に関する調査項目

要 因	項 目 内 容
仕事充実度	<ul style="list-style-type: none"> あなたは仕事の内容に創意や工夫を生かすことができますか あなたは今の仕事が自分にあっていると思いますか あなたは仕事の上で“やったぞ”という感じを持ったことがありますか あなたは自分の受持ちの仕事については、自分の責任で決定することができますか あなたは自分の仕事が「つまらない仕事」だと思いますか(逆転項目) あなたが担当する仕事は、会社にとって重要な意味をもっていると思いますか あなたは仕事におわれてゆとりがないと思うことがありますか
目標志向性	<ul style="list-style-type: none"> あなたは自分が現在やっている仕事に関して、将来への期待、または目標をどの程度お持ちでしょうか
仕事中心性	<ul style="list-style-type: none"> 次のそれぞれの領域は、現在、あなたの生活の中でどのくらい重要でしょうか(100点を配分) A. レジャー B. 地域社会 C. 仕事 D. 宗教 E. 家庭
会社信頼度	<ul style="list-style-type: none"> あなたの会社の経営者が何かを述べる時、あなたはそれを信じてすることができますか あなたの会社の将来の見通しについてどう思いますか
ライフスタイル	
(職場内満足)	<ul style="list-style-type: none"> あなたは職場で能力が発揮できていると思いますか あなたは職場で何でも話せる友人がいると思いますか 職場であなたの実力は正当に評価されていると思いますか
(職場内向上)	<ul style="list-style-type: none"> あなたは簡単な仕事よりも、少し難しいものの方が好きだと思いますか あなたは仕事を成功させるために必要なら、かなり無理なことにも耐えると思いますか あなたは仕事に必要と思われる新しい技術や知識を、進んで吸収していると思いますか
(家庭内満足)	<ul style="list-style-type: none"> 家族はあなたを必要としていると思いますか あなたは心にゆとりのある家庭生活を送っていると思いますか 家族はあなたの気持ちを分かってくれていると思いますか
(余暇満足)	<ul style="list-style-type: none"> あなたは仕事以外に熱中できるもの(趣味、宗教、サークルなど)があると思いますか あなたは余暇の過ごし方に満足していますか あなたは他人の面倒を見てやるのが好きで、隣人・友人から頼られることが多いと思いますか
生活満足度	<ul style="list-style-type: none"> 一般的にいて、あなたご自身の生活にどのくらい満足していますか

表2 血液型による分類

類型	n	百分率
A 型	429	41.5
B 型	198	19.2
O 型	275	26.6
AB 型	131	12.7
計	1033	100 %

表3 リーダーシップ認知類型による分類

類型	n	百分率
P M型	338	34.1
P 型	169	17.0
M 型	139	14.0
p m型	346	34.9
計	992	100 %

表4 血液型がリーダーシップ認知、職場モラルおよび組織風土に及ぼす効果

N	血液型				分散分析 結果F値
	A型 429	B型 198	O型 275	AB型 131	
リーダーシップ					
P得点	34.96 (6.68)	34.37 (6.98)	34.52 (6.30)	33.57 (6.70)	1.46 n.s.
M得点	34.51 (7.99)	33.67 (7.83)	33.59 (7.42)	34.02 (6.51)	0.96 n.s.
職場モラル					
仕事に対する意欲	17.80 (3.52)	17.90 (3.45)	17.54 (3.51)	17.86 (3.60)	0.51 n.s.
給与に対する満足	13.27 (3.22)	12.70 (3.34)	13.11 (3.34)	13.08 (3.14)	1.36 n.s.
会社に対する満足	16.72 (2.90)	16.30 (2.92)	16.38 (3.12)	16.43 (2.87)	1.25 n.s.
精神衛生	14.98 (3.15)	15.13 (3.46)	14.71 (3.05)	15.07 (3.25)	0.79 n.s.
チームワーク	17.67 (3.94)	17.65 (3.96)	17.51 (3.72)	17.65 (3.10)	0.10 n.s.
ミーティング	16.28 (3.51)	15.74 (3.64)	15.80 (3.49)	16.31 (3.40)	1.82 n.s.
コミュニケーション	16.96 (3.20)	16.62 (3.25)	16.70 (3.34)	17.25 (3.16)	1.28 n.s.
業績規範	16.73 (2.97)	16.62 (2.97)	16.53 (2.90)	16.58 (2.90)	0.27 n.s.
組織風土					
仕事充実度	23.40 (4.08)	23.39 (4.07)	23.05 (4.04)	22.93 (4.39)	0.73 n.s.
目標志向性	1.85 (0.61)	1.91 (0.64)	1.86 (0.63)	1.85 (0.63)	0.51 n.s.
仕事中心性	35.42 (15.72)	35.47 (13.33)	34.40 (14.78)	32.60 (13.55)	1.38 n.s.
会社信頼度	7.14 (1.32)	7.16 (1.27)	7.03 (1.39)	7.05 (1.25)	0.57 n.s.
ライフスタイル					
<職場内満足>	5.98 (1.36)	6.03 (1.42)	5.97 (1.33)	5.89 (1.29)	0.28 n.s.
<職場内向上>	6.31 (1.48)	6.45 (1.55)	6.24 (1.51)	6.25 (1.50)	0.87 n.s.
<家庭内満足>	7.08 (1.52)	7.03 (1.54)	7.08 (1.43)	7.08 (1.54)	0.06 n.s.
<余暇満足>	6.45 (1.40)	6.49 (1.56)	6.47 (1.48)	6.43 (1.60)	0.06 n.s.
生活満足度	3.13 (0.96)	3.05 (1.01)	3.09 (0.96)	3.22 (0.95)	0.93 n.s.

()の数値はSDを示している。

本研究の調査対象者の血液型の分布は、日本人の平均的な分布に近いと言えよう。⁴⁾

リーダーシップ認知類型については、まず、調査対象者のP・M認知得点の平均を算出し、P得点の平均34.56 (SD = 6.65) およびM得点の平均34.04 (SD = 7.63) を得た。この結果をもとに、回答者の得点が10点~34点の範囲にある場合はp (あるいはm) とし、得点が35点~50の場合はP (あるいはM) として各判定の大小を組合せ、PM4類型を構成した。

表4に、血液型ごとのリーダーシップ認知得点、

職場モラル、組織風土得点と

F検定結果の一覧を示している。

すべての項目得点に有意差がみられていない。すなわち、血液型はリーダーシップ認知、職場モラル、組織風土に影響を与えないと言えよう。

表5に上司のリーダーシップご

との職場モラル、組織風土得

点とF検定結果の一覧を示して

いる。すべての項目の得点にお

いて、有意差がみられている。今

回の結果は、これまでのPM得点

と職場モラル、組織風土に関

する研究結果と一致している。⁶⁾

すなわち、PM型においてモラ

ル、組織風土得点がかつとも高

く、ついでM型、P型であり、pm

型においてもつとも低い。

本研究においては血液型と職

場モラルや組織風土のあいだ

に関係はみられなかった。血液

型が人間関係と相関があるかの

ごとくいわれているが⁵⁾ 実証的

なデータにもとづくものではなく

妥当性に欠けると言えよう。

職場モラルや組織風土に強い

影響力を与えるのは、上司のリー

ダーシップである。

表5 上司のリーダーシップが職場モラルおよび組織風土に及ぼす効果

N	リーダーシップ認知類型				分散分析 結果F値
	PM型 338	P型 169	M型 139	pm型 346	
職場モラル					
仕事に対する意欲	19.41 (3.24)	17.20 (3.14)	17.46 (3.20)	16.53 (3.49)	45.70***
給与に対する満足	13.93 (3.58)	12.87 (3.14)	12.89 (2.97)	12.56 (3.01)	10.98***
会社に対する満足	17.83 (2.94)	15.99 (2.98)	16.53 (2.63)	15.50 (2.76)	40.55***
精神衛生	16.51 (3.15)	13.80 (2.78)	15.05 (2.33)	13.86 (2.93)	57.21***
チームワーク	19.23 (3.52)	17.08 (3.53)	18.03 (3.01)	16.13 (3.84)	44.63***
ミーティング	18.45 (2.87)	15.39 (2.91)	16.40 (2.62)	13.81 (3.19)	142.33***
コミュニケーション	18.86 (2.63)	16.72 (2.82)	17.12 (2.52)	14.71 (2.98)	126.07***
業績規範	17.96 (3.04)	16.75 (2.55)	16.19 (2.38)	15.40 (2.69)	50.18***
組織風土					
仕事充実度	25.05 (4.09)	22.10 (3.66)	23.18 (4.09)	22.05 (3.82)	38.85***
目標志向性	2.06 (0.63)	1.80 (0.57)	1.76 (0.60)	1.77 (0.60)	16.11***
仕事中心性	37.16 (14.51)	33.94 (14.32)	34.05 (13.04)	33.39 (15.62)	4.23**
会社信頼度	7.53 (1.32)	7.10 (1.43)	7.04 (1.21)	6.68 (1.20)	25.04***
ライフスタイル					
<職場内満足>	6.57 (1.31)	5.57 (1.10)	6.20 (1.07)	5.54 (1.39)	44.88***
<職場内向上>	6.83 (1.38)	6.04 (1.33)	6.17 (1.49)	5.98 (1.56)	22.85***
<家庭内満足>	7.39 (1.43)	6.96 (1.42)	7.02 (1.45)	6.78 (1.56)	10.03***
<余暇満足>	6.74 (1.34)	6.38 (1.54)	6.42 (1.53)	6.24 (1.57)	6.48***
生活満足度	3.28 (0.99)	2.94 (1.00)	3.14 (0.88)	3.00 (0.93)	6.98***

()の数値はSDを示している。 **p<.01 ***p<.001

要 約

血液型（ABO式）が仕事意欲、モラルに及ぼす効果を明らかにするために実証的研究を行った。得られた結果の主なものは、次の通りである。

1. 血液型と仕事意欲やモラルとの関係はみられなかった。
2. 仕事意欲やモラルと関係がみられたのは、上司のリーダーシップで、PM型がもっともモラルが高く、pm型がもっとも低かった。

引用文献

- 1) 鈴木芳正 血液型交際術 産心社 1985
- 2) 能見俊賢 血液型おもしろ第2読本 文化創作出版 1983
- 3) 打木城太郎 血液型人間模様 鷹書房 1983
- 4) 大村政男 血液型と性格 福村出版 1989
- 5) 鈴木芳正 血液型相性学 産心社 1973
- 6) 三隅二不二 リーダーシップの行動科学 有斐閣 1982
- 7) 関文恭、三角恵美子 組織風土インベントリーのパス解析 九州大学医療技術短期大学部紀要 13, 67 - 71, 1986.
- 8) 関文恭、矢守克也、大黒良明、三角恵美子 いわゆる新人類の労働価値観と上司のリーダーシップに関する実証的研究 九州大学医療技術短期大学部紀要 17, 47 - 55, 1990.